

雪がた

—— 豊科病院だより ——



豊科病院広報誌 第5号
平成19年 2月 1日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
URL <http://shironishi.or.jp/to/01/htm>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

三賞受賞

特別医療法人 城西医療財団

理事長・総長

関 健

私は、平成3年4月1日に城西病院の病院長に就任したので、本年3月末で15年を経過したことになる。また、本年11月11日には、祖先が神林の地で養精堂医院を開業して百二十周年を迎えた。この機会に人身を一新し、古い皮袋に新しい酒を盛るの譬えのとおり、私は退任し、新しい院長として庄司進一博士を迎えた。博士は、東京大学を卒業後、東京大学、信州大学、筑波大学等で教鞭をとられ、昨年3月に退官され筑波大学名誉教授として推された内科学・神経学の大家である。当地に戻られ、縁あって城西病院に勤めていただいていた。そして、私は、特別医療法人城西医療財団及び社会福祉法人七つの鐘の運営する病院群並びに施設群を統括する総長に就任した。勿論両法人の理事長も兼務する。第一線を退いたわけではない。

院長職に就いて15年にもなったのかとの感慨もある。名誉院長の資格も十分あると思うが、こちらは65歳頃にでも若い人々から推されれば、就任すればよいと考えている。重ねた年月は、賞というものに縁がなかった私に、三つもの賞を贈（もたら）してくれた。まことに名譽なことである。まづ第一の賞は、長野家庭裁判所中山隆夫所長よりの表彰である。平成6年4月から長野家裁松本支部の家事調停委員を務めてきており、10年経ったので、平成17年3月11日に長野地方裁判所庁舎で表彰された。次なる賞は、国民健康保険中央会斎藤十朗会長よりの表彰である。平成8年4月から長野県国民健康保険審査員を務めてきており、10年経ったので、平成18年9月28日に伝達された。三番目の賞は、社団法人全国老人保健施設協会漆原彰会長よりの表彰である。平成11年4月から全老健代議員（長野県老人保健施設協議会副会長）を勤めてきており、7年経ったので、平成18年11月9日に熊本の全国大会開会式で表彰された。これらは長年にわたってそれぞれの組織で役割を演じてきたためのご褒美であろう。

ところで、調停委員は、祖父の関忠英及び父の関守も務めていた。国保審査員は、父も務めていたし、故関東和先生も務めていて、それを引き継いだものである。県老健の副会長は、高山紀夫先生が務めていて、全老健の全国大会が長野で開催されるに際し、引き継いだものである。差し詰め三賞は、殊勲賞・技能賞・敢闘賞にあたるのであろうか。

五味渕新院長 就任の挨拶

豊科病院 病院長

五味渕 満徳



私は、栃木県にある有名な那須温泉郷から南西に20kmほど南下した場所にある、大田原市に生を享けました。そして、この田園都市である地元で高校までを過ごした後、順天堂大学医学部に入學。同校を昭和54年3月に卒業し、それから大学・埼玉県・千葉県の各病院にて、精神科の臨床を学んできました。

主に臨床脳波学を中心に、深さにはいささか心許ない点もありますが、広く学べたと考えております。また、小児精神科の分野を少々苦手としますが、これは自分で受け持った症例が少ない為です。

今まで「患者様が必要とされている時は、出来る限りそばに居る」ことをモットーにして働いてきたつもりですが、まだまだ十分とは言えません。患者様が自身の力で病気を治していくことを私が邪魔することなく、安全保障感が高まるように手助けを出来れば、と考えています。

これからもnoblesse oblige（身分に応じた果たさねばならぬ社会的責任と義務がある・・・という意）の精神でやっていきます。

秋祭りが行われました

少々時期外れな話題で恐縮なのですが、季節は秋・・・安曇野から見る山々は日ごとに紅く染まり、日もめっきり短くなってきました。10月も下旬となると朝晩の冷え込みを肌で感じるようになり、まさしく様々な意味で秋を実感しますね。当院において、10月28日に恒例の「秋祭り」が行われました。とても暖かな雰囲気にも患者様も、祭りを楽しみつつ、深まる秋を感じていただけたのではないのでしょうか。

祭りは例年通り「演芸」と「屋台」に分かれて行われましたが、雨天に悩まされた昨年の秋祭りの教訓から、今年の会場は全て屋内に移して、2階を「演芸会場」、3階を「屋台会場」とし、患者様に不自由なく楽しんでいただけるよう、配慮致しました。

祭りが始まる午後1時半には、会場となる2階のホールは観客で一杯となりました。今年の演芸は昨年に引き続き「安曇野歌謡会」さんがご出演され、まさに熟練の素晴らしい素晴らしい



安曇野歌謡会の皆さん ありがとうございます

歌と踊りを披露していただきました。

演芸は二部構成で行われますが、その休憩時間には3階の屋台会場に移動して、たいやきやハンバーガー、ジュース、ポップコーンなどの軽食を楽しみながらの歓談タイム。思い思いの席に集まり、話に花が咲きます。

その後も、安曇野歌謡会の方々の演芸は続きますが、楽しい時間は、あっという間に過ぎるもの。いつしかお別れの曲となってしまうかもしれません。いつにも増して大きな拍手に包まれて、暖かな雰囲気の中、今年の秋祭りは終了となりました。

こうして会場にて取材をしていると、普段ではなかなか気付くことが難しい、患者様の違った一面を発見出来たり、また、新たな触れ合いの機会が増えることに気付きました。

職員にとっても秋祭りは大切な行事であり、もっと積極的に関わっていくことが大切なのですね。

講習会 ～「口腔ケアについて」～

当院では、職員や患者様に向けて毎月、講習会を行っています。その内容は専門的なことから、日々の健康に関することなど様々ですが、今回は「口腔ケアについて」の講習会が行われた時の模様をレポート致します。

今回の講師は、歯科衛生士の矢花好美さんをお願いしまして、職員と患者様に向けた講習を行いました。

まず歯の役目と病気について。健康な口の中に歯は28本。しかし、虫歯や歯槽膿漏などにより、失われてしまうことがあります。病気で噛めない歯では食事が出来ず、体力が失われてしまいます。そこで、健康な歯を保つために、正しい歯磨きが重要になってくるのです。

歯の清掃用具には歯ブラシ・歯間用のデンタルフロスや歯間ブラシがあり、それぞれ用途によって使い分けます。

歯磨きのポイントは、歯ブラシは握らず鉛筆を持つような感じにし、歯面に毛先をしっかりと当てて小刻みに動かすようにします。歯の一本ずつ、順番を決めて磨くと良いようです。

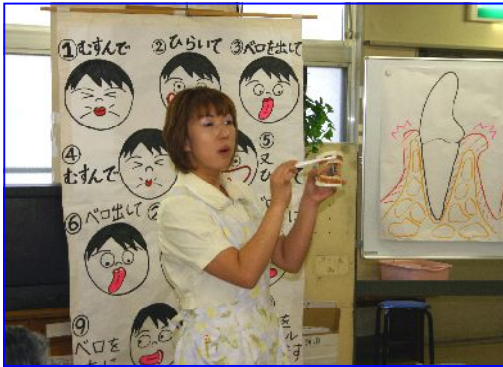
歯の表側を磨くときは、歯ブラシの毛先を歯面に対して平行になるように当て、1本ずつ磨くように細かく動かします。

歯の裏側を磨くときは、歯ブラシの毛先を歯にピッタリ当てて、1本ずつ上下に動かします。

奥歯の咬み合わせを磨くときは、歯ブラシの毛先を歯の溝に当てて、前後に動かします。

歯を磨いた後は、鏡や舌で磨き残しを確認すると良いでしょう。

以上、講習会の模様を簡単にまとめてみました。一生、自分の歯で食事がとれるということ、健康のためにも重要ですね。皆さん歯磨き頑張りました！



分かりやすいお話をありがとうございました



書く喜び

食事療養部 丸山 美代子

私の趣味の一つに、幼少の頃から始めた「書」があります。中でも特に好きなのは「仮名（かな）」です。

慌しく毎日の日課に追われる中、ホッとする無心の楽しいひと時。早朝、ラジオで「健康ライフ」などを聴きながら大好きな、かな書道の手習いをしています。

硯に水を入れ、墨をすると良い香りがしてきます。ちょっぴり源氏物語の紫式部になった気分。流暢な連綿線のかな作品、少しでも平安時代の大書の筆使いに近づきたいと思いますが、それが中々奥深く、足元にも及びません。

漢字を真名（真字）と呼びますが、仮名（かな）は漢字を元にして作られた文字で、平仮名（ひらがな）や片仮名（カタカナ）、万葉仮名などの種類があります。他にも女性が作った草仮名（女手とも呼びます）があります。古筆の中でも最高のものは平安期のもので、肉筆が残っていますので、それをしっかりと臨書（良い手本を見て習う）して、自分の手に覚えさせることが大事だと言われています。

連綿線、流れの美しさ、良紙の素晴らしさなどが仮名の特徴です。素敵なお作品を見ていると心がホッと、と落ち着きます。書く時はこれらの特長を頭に入れつつ、白い空間を如何に美しく見せるか…構成や、散らし書き、見せ場を考えながら作品を作っていきます。音楽や絵画でも「盛り上

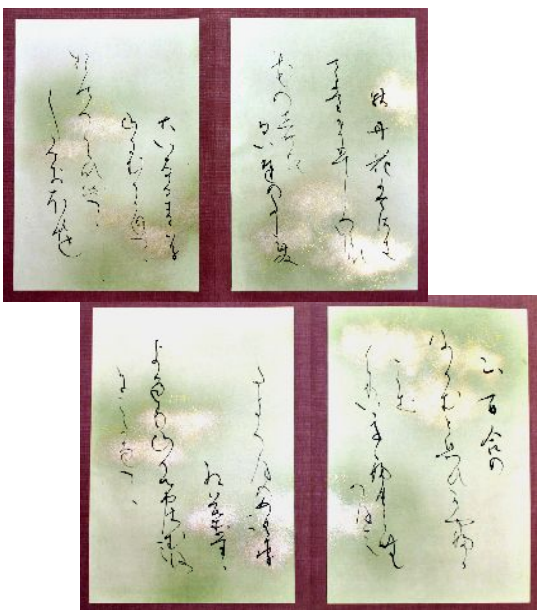
がり」や「静寂」などが素敵に盛り込まれていますが、書にも共通するところがあるのです。最後に筆、墨、紙…こうしたひと時が出来る日々感謝して、書を終わります。

作業療法室では、現在月一回の書道講座を行っており、私も指導とまではいきませんが、一緒に楽しませていただいています。皆様力強く、個性のある素敵なお作品、「世界に一つだけの花（書）」が咲いています。

今はコンピューターで打ち込めばすぐに字が出てくる便利な時代になりましたが、皆様、こたつや机の片隅で、小さな硯を用意して（墨汁でも構いません）書いてみませんか？脳のリハビリにもとても良いと言われています。

4月6日～4月8日まで、松本市美術館において「信州かな書展」が開催されます（入場は無料です）ので、ご都合がございましたら是非ご覧下さい。

書くことが私の、心の癒しなのです。



精神科外来 医師担当表

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	中澤 知遠 医師	西里 吉昭 医師	五味渕 満徳 医師	五味渕 満徳 医師 or 中澤 知遠 医師	中澤 知遠 医師	五味渕 満徳 医師
◎受付時間 午前8時～午前12時 ◎診療時間 午前9時～終了まで ◎午後は休診となります ※ 日祝祭日は休診となります ※ 木曜日の担当医は、週ごとに変更となります。詳しくは受付へご確認下さい						

内科外来 医師担当表

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	信州大学 第一内科	休 診	休 診	信州大学 第一内科	信州大学 第一内科	休 診
◎受付時間 午前8時～午前12時 ◎診療時間 午前9時～終了まで ◎午後は休診となります ※ 日祝祭日は休診となります ※ 火・水・土曜日は 休診とさせていただきます						

平成19年 2月現在



～・編集後記・～

豊科病院広報誌「雪がた」第5号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？
今号は特別寄稿として、当法人の関 健 理事長・総長の文章と、そして、昨年12月より当院の院長に就任した五味渕院長からのご挨拶を掲載致しました。

今冬は暖冬の影響なのか、今のところはインフルエンザも大きな流行がなく、どちらかというと過ごしやすい冬なのかな、という印象を皆さんお持ちかと思います。しかしながら、この暖冬の影響が思わぬところで私達の生活に関わってくるかもしれません・・・やはり油断は禁物ですね。
毎日の健康に気を使い、元気に冬を乗り越えましょう。

※表題「雪がた」について 春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。
また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。